

気候変動を踏まえた治水対策のロードマップ(全体)

資料5

治水

平成30年度

- ・ハード対策で対象とすべき、温度上昇シナリオ
- ・外力の評価(2℃上昇、4℃上昇)
- ・全国版の変化倍率の算出、降雨パターンの検討

- 河川整備手順の見直し
- 整備計画メニューの追加
- 事業評価手法(新規採択事業化等)の見直し

令和元年度

【外力の評価】

- ・2℃上昇時の外力変化の検証(d2PDFを用いて検討)
- ・変化する降雨パターンの評価(2℃、4℃)
- ・複合災害の同時生起性の評価(2℃、4℃)

【対策の検討】

- ・計画を上回る洪水に対して被害を軽減強化対策
- ・防災・減災効果の高い洪水調節施設の操作
- ・予測の不確実性を考慮した施設の設計手法
- ・多様な水害リスクの評価手法

- ・気候変動を踏まえた河川整備計画への実装
(目標外力の見直し、対策メニューの追加)

- 基準類、手引きの作成・更新

令和2年度～

【外力の評価】

- ・新たな計算手法の検討
- ・水災害を引き起こす外力の検討
- ・気候変動モニタリング

海岸

- ・海面水位上昇量及び外力増大量の設定

土砂

既往災害の分析による生産土砂量の実態把握(降雨条件との比較整理等)

河砂基準の改定
土砂・洪水氾濫に係る国総研資料の発行

豪雨時の山地流域における生産土砂量の推定手法の高度化

土砂・洪水氾濫発生危険度評価手法の開発

既往災害の分析に基づく経験的手法の検討